実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

【計画ベース】

◎基本情	青報													【計画べ	<u> </u>	ス】	
事業 区分	糸	継続 事務事業名 子育て支援体制整備事業(保育所における巡回相談						回相談	事業)	担当 部署		健康福祉部 子どもいきいき課					
基本	総合計画体系 基本政策(大項目) 2 ずっと笑顔で生きがい感じるまちつ												鳴門市子ども・子育て支援事業計画				
政:	(策(中項目) 2 子どもたちの笑顔と歓声が聞こえる						えるまち	なる			開始	平成	· 🔻			22 年度	
(小項目) 児童福祉 施策 2 児童福祉の推進										事業 期間		1 /					
										***************************************	終期	未定			•		
□ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無							√										
□ ふるさ	と納ね	锐寄附:	金等要才	रे	<i>i</i>	ボートレー	ース鳴門まちづくり	基金活用	予算要	求							
◎事業概	要	(PLA	N)														
目的 ①育児不安を抱える家庭の支援 ②保育士等、子育て支援者のスキルアップ ③軽度の障がいが疑われる児童の早期発見、継続支援 体制の構築						事: 内? (R:	回 伊 業 を	実施希望保育施設のアンケート調査に基づき、8か所の保育所で巡回相談を実施する。 保育現場で気になる子どもの状況を観察し、日々の保育の中での具体的なかかわり方について、エピソードを基に医師・臨床心理士の専門家から助言及び指導を受けることにより、保育士の保育スキルの向上に繋げ、また、保護者相談も行うことで、子育て当事者の育児不									
実施	びた	D希望する公私立保育施設に対し、医師、臨床心理士及 が保健師が訪問し、保護者や保育士等の子どもの発達に 関する相談に応じる。 D軽度の発達障がいが疑われる児童について、継続的な 支援に繋げる。							岁	安の軽減にも繋げていく。 巡回相談を受けた対象児童・保護者に対し、継続的な支援ができる ように、健康増進課との連携を図る。							
方針	2							な 当 から 変更	の								
				指	票名			平成29	年度実績	平成	30年度実績見込	令和元	年度目標	票令和2年度目標	令和	3年度目標	単位
活動指標		1 実	施施設	数					8		8			8 7	7	7	施設
実施した事業の 動量を示す指				けた児童数				392		500	50		400)	400	人	
成果指標	Į.			指標名				平成29	平成29年度実績		30年度実績見込	· 令和元年度		票令和2年度目標	令和	3年度目標	単位
対象にどのようが果があったか示標	な効	適切な支援を受けた児童数						44		50		50 50)	50	人	
		年月	复		平成29年度	Ę	平成30年	F度		令和	1元年度		令	和2年度		令和3年	=度
事業の 実施内 容推移		各年度の実施 (予定)内容 巡回相談事業の						施 巡回相談事業の実施		拖 巡	巡回相談事業の実施 巡		《回相談事業の実施				
事業費	推彩	3		年 度	艺	当	初予算額		令和元年度 正予算額·繰越額等			全体予算額		令和2年度		令和3年度	
(千円)		計			585				585			510		510			

事務事業名 子育で支援体制整備事業(保育所における巡回相談事業)

指標名

一般財源

362,980

◎実施結果(DO)

【実績ベース】

事業 実施 内容

令和元年度実施内容

市内8か所の保育施設で巡回相談を実施した。

支援が必要と思われる子どもの保護者に対しては、事業実施の保育施設で個別に声をかける等、保護 者相談を積極的に呼びかけた。

子どものエピソードを基に、保育士が医師・臨床心理士などの専門家から指導を受けることにより、支援 が必要な児童の保育の質の向上を図るほか、健康増進課の保健師等との連携を図った。

平成30元年度実績 令和元年度実績 令和2年度目標 令和3年度目標 令和4年度目標 単位

活動指標	1	実施が	拖設数		10	8	7	7	7	施設		
実施した事業の活 動量を示す指標	2	観察を	受けた児童数		502	529	400	400	400	人		
成果指標 対象にどのような効 果があったか示す 指標	適	切な支	を援を受けた児童	数	60	46	50	50	50	Д		
指標			目標達成率(実	績/目標)		92.0				%		
			<i>-</i>			令和元年度決算						
			年 度	平成30年度決算	前年度からの繰越決	度からの繰越決算額 決算額		和2年度への繰走	越額 最終事	最終事業費		
	āt			725,960	0	576,	698	0	576,	576,698		
事業費推利	3		国庫支出金	0	0	0		0	(0		
(円)		財	県支出金	362,980	0	288,	000	0	288,	000		
		源	地方債	0	0	()	0	C)		
		内	使用料•手数料	0	0	()	0	C)		
		訳	その他	0	0	()	0	(0		

◎評価(CHECK)

今年度の	進捗状況	計画ど	おり	事業全体の	の進捗状況	計画どおり	
	指標名	適切な支援を受	とけた児童数		保育の現場で気になる子どもの状況を観察し、具体的な関わり方について、エピソードを基に、専門家である医師・臨床心理士から助言及び指導を受		
成果指標に対	目標	50	人	成果指標に対 する所見			
する評価	実績	46	人		けることにより、保育士の意識の向上や保育 する自信に繋がり、保護者相談では、保護者		
	評価	B:概ね目標を	達成できた		児不安の軽減に		

0

288.698

0

288.698

◎今後の方向性(ACTION)

課題

相談役である医師や臨床心理士との日程調整を関係課を交えながら綿密に行い、事業実施を希望するすべての保育施設 で事業が実施できるように取り組んでいるが、前年度に日程調整を行う都合で、急遽、新年度入所児童の相談をしたい施設 があった場合、対応が困難になっている。

今後の方向性		1.廃止		2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3				
→ 今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。											
実施内容	令和	12年度	医師・臨床心理 に対し、継続し7	土・保健師・保育士等が近た支援を行えるよう、引き組	重携し、育児不安を抱える 続き事業を継続する。	保護者や発達障がいが疑	われる乳幼児				
	令和	13年度	継続して事業を	実施する。							